

Istanbul Weekly vol.4-no.31

イスタンブール ウィークリー

発行：在イスタンブール日本国総領事館 発行日：2015年8月14日（金）

— 今週のポイント —

- 政治**：AKP と CHP の連立交渉、成立せず。
政局は、再選挙に向けて加速。
- 経済**：6月の経常赤字が減少。
上半期のクルーズ船旅行、20%増加。
- 治安**：イスタンブールで、PKKによる車両自爆テロが発生。
イスタンブールで、DHKP/Cによる米国総領事館銃撃テロ。
- 軍事**：米軍F16がISILを空爆。
- 社会**：イスタンブールおもちゃ博物館で、原爆投下後70周年の追悼。
フライト遅延の原因はDHMI（国家空事管理局）か。

政治

【内政】

●AKP と CHP の党首間連立交渉の実施

10日、ダーヴトオール首相（AKP 党首）とクルチダルオール CHP 党首は、連立政権発足に向けた党首会談を実施。4時間20分に及んだ会談は、「楽観的な雰囲気」で実施された模様。両党首は13日にも再会談し、連立政権可否を最終判断して国民向けに結果を発表する予定。また、同日、バフチェリ MHP 党首は、同会談を受けて、AKP・CHP 両党首は連立政権樹立に向けて互いにより献身的になるべきだとの書面コメントを発表。（8月12日付 H紙24面）

●CHP との連立交渉の行方に対するダーヴトオール首相の発言

11日、ダーヴトオール首相は、木曜日（次回の党首会談で）に歴史的な発表が行われると期待すべきではない旨発言。CHP との連立交渉が楽観視されてきた空気を否定する形となった。また、来週予定される MHP との会談についても、MHP と決して対話を絶つことはせず、必要あれば会談する旨発言し、MHP との交渉にも含みを残した（8月12日付 M紙20面）

●クルチダルオール CHP 党首、CHP として連立政権に前向き

12日、クルチダルオール CHP 党首は、13日に予定されるダーヴトオール首相との会談を前にした党内会合で、CHP として連立に前向きな姿勢で臨むとともに、「連立政権樹立に向けたダーヴトオール首相の誠意を感じる一方で、エルドアン大統領が連立政権のもっとも大きな弊害となっている」との趣旨を発言。また、CHP が掲げる14件公約のうち、「外交」「経済政策」「憲法」「教育」「国民的な和平」の5つの項目が AKP との間で課題となっていると説明。（8月13日付 C紙5面）

●AKP と CHP の連立交渉、成立せず

13日、ダーヴトオール首相とクルチダルオール CHP 党首は、連立交渉の最終会談を実施したが、両党の連立政権は不成立となった。

(1)ダーヴトオール首相は会談後に記者会見を行い、1ヶ月にわたり相互理解の下で対話を繰り返してきたが、外交・教育などの分野で合意できず、CHP が AKP の提案する短期の改革内閣を望まなかったため不成立となった旨述べた。更に、現状では「早期総選挙に唯一可能性がある」と言明しつつ、来週にもバフチェリ MHP 党首とも会談を行い、総選挙に向けた最終的な判断を下していく方針を述べた。

(2)クルチダルオール CHP 党首も同日記者会見を開き、AKP から CHP に対して、連立政権ではなく、（短期の）選挙管理内閣のみが提案されてきたことを明らかにした。また、早期総選挙は「単独政権が生まれぬ以上、連立を作るべし」との総選挙で示された民意に応えるものではないと述べた。

(3)バフチェリ MHP 党首は、ダーヴトオール首相の会談申し入れを受諾するとともに書面発表を行い、MHP は、AKP・CHP の連立の必要性を強調してきたが37日間は無駄に終わったと批判しつつ、党として AKP との会談を実施する用意がある、ただし、少数単独内閣や選挙管理内閣を認めないとする態度は崩していないと述べた。

（14日付 H紙1面他各紙）

●政局は、再選挙に向けて加速

AKP と CHP の連立交渉の不成立と、ダーヴトオール首相の「早期総選挙が、唯一の可能性」との言明を受けて、政局は早期総選挙に向けて一気に加速。今後は、総選挙の時期（11月を軸に、10月や翌年春まで等）や、AKP の少数単独内閣か、選挙管理内閣といった選挙に向けた政権の形態が議論されることになる。（8月14日付 S紙1面他）

経済

【マクロ経済】

●5月の原油輸入、3年間での最大量

財務省発表のデータによると、5月の原油輸入量は、前年同月比 65.4%増で 200 万トンを超えた。最近では、2000 年 11 月の 76.4%増に次ぐ規模の増加となった。1-5 月では前年同期比 38.1%の 900 万トン、金額にして 38 億ドルの原油を輸入。(8月10日付 D S 紙インターネット版)

●6月の経常赤字額減少

11日の中央銀行の発表によると、トルコの6月の経常赤字は、5月の44億4000万ドルから33億6000万ドルに減少。外国貿易赤字額の縮小(前年同月比14億ドル減の48億ドル)や、石油価格下落が要因。中央銀行は、経常収支赤字が来期には穏やかに縮小すると予測する。(8月12日付 HD 紙 10 面)

【経済政策】

●第3空港-イスタンブール中心部間の地下鉄プロジェクト開始

黒海沿いに建設中の第3空港とイスタンブール中心部を結ぶ地下鉄の建設計画が開始された。建設に関する主要な入札は 2016 年中頃の予定。新路線開通により、イスタンブール中心部の複数の場所から第三空港に行くことができるようになる。新路線はガイレットペ〜空港間の 33 km を、26 分で結ぶ。第3空港までは、現時点で海や地下鉄輸送のルートは想定されていない。(8月11日付 HD 紙 11 面)

【観光関連】

●上半期のクルーズ船旅行、20%増加

地中海観光ホテル協会(AKTOB)によると、トルコの今年上半期のクルーズ船旅行者は、前年同期比 20%増の 64 万 8000 人。イスタンブールでは同 51%増の 21 万 7000 人、クシャダスのエーゲ海リゾートは同 14%増の 19 万 4000 人。他方、イズミールのエーゲ海リゾートやアンタルヤの地中海リゾートは減少傾向で、それぞれ 7 万 7000 人(10.7%減)、5 万 6000 人(同 13.3%減)であった。2014 年のクルーズ船旅行者は前年比 20%減の 179 万人。(8月13日付 HD 紙 11 面)

【トルコ経済に関する評価、考察等】

●トルコ、年末までに信用格付引き下げのリスク

フィッチ、S&P、ムーディ等主要な評価機関が年末まで行う格付評価において、トルコについて評価引き下げのリスクがある。ゴールドマン・サックスは、トルコの格付が引き下げられるとしても驚くべきことではないと述べている。Financial Times 紙は 7 日、トルコが「ジャンク」ステータスの閾値で揺れており、更なる下り坂が投資に否定的な影響を与えると論じた。S&P によると、早期総選挙に関する政治の不確実性の高さが低迷するトルコリラの更なる下落につながり、消費マインドやインフレ率にも否定的な影響を与える可能性があるという。デロイト・ターキーは、先月のトルコ経済に関するレポートの中で、トルコの成長が回復するという予想は低いままなので、総合的なマクロ経済政策を採用すべきであると述べた上で、年末時点での高い経常赤字と目標を上回るインフレ率を予想した。(8月10日付 Z 紙 7 面)

●トルコ経済のリスクと今後の見通しに関する考察

2001 年の通貨危機後の銀行改革や、公共企業の民営化や社

会保障制度改革を通じた財政改革により、多くの市場関係者、アナリスト、信用格付関係者は、トルコの経済は回復力に富むと考えている。

経済指標によりトルコ経済を見てみると、2014 年 7 月から 2015 年 7 月の間で、リラはドルに対して 23%下落したが、ロシア(65%下落)、コロンビア(54%下落)といった他の新興国通貨の状況と比較すると悪い状況ではない。しかし、クレジット・デフォルト・スワップ(CDS)は、2015 年当初の 184 から 7 月には 223 と 21%上昇しており、破壊的なレベルではないものの経済的リスクは高まっている。トルコにとって最悪の事態は、外国人が出て行くことであるが、米国 FBR の利上げの実施が不透明であるため、外国人はまだ完全には撤退していない。トルコ経済が回復力に富むというのは一時的な状況であり、FBR 利上げにより本当に大変な状況になることは避けられない。(8月10日付 HD 紙 10 面、ムスタファ・スンメズ氏)

●トルコ経済は脆弱ではない

資産運用会社 Templeton Emerging Markets Group のマーク・モービス会長は、トルコ経済は脆弱ではなく、投資家にとって多くの機会があると述べた。同会長は米 FBR の利上げが新興市場に及ぼす影響について、利上げを市場が考慮している点でリスクはむしろ低いが、予想より利上げが大きい場合は、新興国を含む全ての市場が影響を受けると述べた。(8月13日付 HD 紙 10 面、マーク・モービス Templeton Emerging Markets Group 会長)

治安

●PKK が米国にトルコとの和平交渉に関わるよう要請

ヨーロッパ PKK 幹部のズベール・アイダルは、米国がトルコとクルドとの架け橋となり、クルドの和平交渉に関与するよう求めた。(8月7日付 HD 紙 1 面)



●PKK の爆弾で市民 1 名が死亡

5日南東部シュルナック県において、PKK メンバーが仕掛けた遠隔操作式の路肩爆弾が爆発し、通りかかった車両を運転していた市民 1 名が死亡した。(7日付 HD 紙 4 面)

●イラン、ロハニ大統領がエルドアン大統領に呼びかけ

6日イランの国営メディアは、イランのロハニ大統領がエルドアン大統領と電話会談し「イランとトルコは、協力し合って、地域の過激主義者(ISIL)を取り除くために協力しなければいけない」と呼びかけたと伝えた。(7日付 HD 紙 9 面)



●PKK の攻撃で警察官 3 人が死亡

(1)7日、シュルナック県で警察装甲車に対して PKK がロケット攻撃を行い、警察官 1 名が死亡。

(2)7日、ディヤルバクル県で PKK に銃撃され、兵士 1 名と

警察官 1 名が死亡した。

(3)8日マルディン県で通常パトロール中の警察官が、小銃で撃たれ死亡。(8月10日付HD紙3面)

●イスタンブールの AKP 事務所銃撃される

8日、イスタンブール市ベイオールに所在する AKP 県本部に対する銃撃があり、1名が負傷。犯人はその場で警察に拘束され、捜査が進められている。(10日付HD紙)

●アレヴィー派の代表が銃撃される

8日、アンカラの北部郊外で、アレヴィー派のリーダーであるバキ・ドズグン氏が、同派の集会に参加するためイスタンブールからアンカラへ車両で夫人や同僚と移動中に何者かに小銃で銃撃される事件が発生。負傷者は出なかった。同氏によると同様の銃撃は約2ヶ月前にもあったという。(8月10日付HD紙2面)

●イラン外務省がトルコへの陸路旅行を止めるよう国民に勧告

7日、アール県において、イランのバスが銃撃され運転手が死亡した事件を受けて、イラン外務省は、トルコへの旅行者に対し、現在のトルコ東部の治安悪化を理由に、しばらくの間陸路は避け、空路を利用するよう勧告。(8月10日付HD紙9面)

●イスタンブール、スルタンベイリで車両自爆テロ

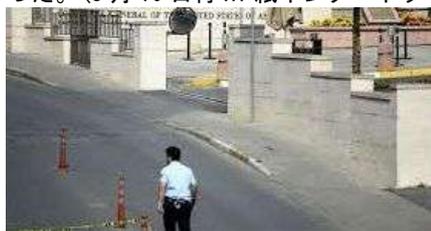
10日午前1時頃、イスタンブール大市スルタンベイリ市ファティヒ警察署に対して、車両自爆攻撃が発生し、警察署は半壊。警察官3名、市民7名が負傷した。

さらに午前7時半頃、同テロ現場の現場検証中に新たな襲撃テロが発生し、県警爆発物処理課長が死亡、襲撃班2名が警察との銃撃戦で死亡した。県警は、PKKによる犯行と発表。(8月10日HT紙)



●米国総領事館に DHKP/C が銃撃テロ

10日午前7時頃、イスタンブール・サルエルに所在する米国総領事館正門前において、2名の女性テロリストが総領事館に向けて銃撃するテロが発生。犯人は逃走したが、負傷した女性一名は付近の民家に潜伏しているところを拘束された。拘束された女性は DHKP/C のメンバーで、警察官殺害容疑で服役し、1ヶ月前に刑務所から出たばかりだった。(8月10日付HT紙インターネット版)



●PKK が警察装甲車両を攻撃、警察官 4 名が死亡

10日、シュルナック県で警察の装甲車両が PKK が設置した地雷の直撃を受け、大破。乗車していた警察官 4 名が死亡。(8月11日付C紙12面)



●オペレーションで ISIL 関係者 19 名拘束

10日チョルム、アダナ、マニサの各県で ISIL 取締り一斉捜査が行われ、ISIL 関係者とされる 19 名が拘束。(8月11日付C紙14面)

●ISIL がウェブサイトでトルコに警告

11日 ISIL 関連トルコ語版ウェブサイトとされる「Darulhilafe」(「カリフの国」の意味)において、「イスラム国のトラック爆弾のターゲットになりたくなければ、速やかにこの戦争から手を引くべきだ。今信頼しているアメリカは、あなた達を救えない。近い将来、攻撃があっても、爆弾が爆発しても、嘆かないよう。それはあなた達が望んだことだ。」との内容が掲載された。(12日付S紙インターネット版)。

●エルドアン大統領 PKK への強硬姿勢示す

11日参謀本部長の離任式において、エルドアン大統領は、「PKKは単に武器を置くだけでなく、武器を埋めなければいけない。PKKは和平プロセスを理解しておらず、和平プロセスは凍結された。」などと述べた。(8月11日付HD紙1面)また、12日にもエルドアン大統領は、「テロリストの最後の1人を絶滅させるまで、戦いは終わらない」と言及。(8月12日付AIPニュース)



●PKK も政府に対して強い戦意を示す

13日ベルギーの民間通信社が、KCK (PKKの正式名称)の最高評議会のジャミル・バユク共同議長へのインタビューを掲載し「過去には、PKK 戦闘員を影響力下にある地域から撤退させたこともあったが、和平プロセスに良い結果をもたらさなかった。」などの発言を紹介。

さらに、他の PKK リーダーの1人、ムラト・カラユランは、「いまや、政府は我々を戦争によって根絶やしにしようとしているが、やるならやればよい、我々も歓迎しよう。」等と述べた。(8月13日TZ紙インターネット版)



- ディヤルバクル県で PKK が軍警察基地にロケット攻撃**
12日ディヤルバクル県スルチにおいて、PKK が軍警察（ジャンダルマ）基地に対して、ロケット弾攻撃を実施。兵士1名が死亡。PKK2名死亡。（8月13日付C紙12面）
- トゥンジェリ県で警察車両に路肩爆弾攻撃**
12日トゥンジェリ県で、警察の装甲車に対して路肩爆弾攻撃があり、警察官1名が負傷。（13日付C紙12面）
- 各県で ISIL オペレーション実施**
12日アンカラ、イスタンブール、ハタイ、クルクカレの各県で ISIL 一斉捜索のオペレーションが実施され、合計12名が拘束された。（13日付C紙12面）
- ハッキヤリ県、シュルナック県で PKK の一部が「自治区」設立を宣言**
12日ハッキヤリ県ユクセクオヴァで PKK（KCK）の会議が行われ、同地がが PKK の「自治区」になったと宣言した。また、シュルナック県でも PKK により同様の「自治区」宣言が出された。シュルナック警察は、PKK に近いとみられたシュルナック市長、副市長など政治家14名を拘束。（8月13日付C紙13面）
- 参考論調：ISIL 報復テロのリスク**
最近トルコは、PKK や左翼組織にとって暴力的な報復攻撃をすることがいかに容易であるのかを見せつけられている。しかし、もし ISIL が報復テロを行った場合には、比べものにならない違いが出る。PKK の攻撃対象は、治安部隊であるが、ISIL の攻撃対象は、市民であり、大量殺戮を狙うものである。ISIL は、トルコの都市や観光地をわずかの爆弾で不安定化させることが非常に容易だと繰り返してきた。ISIL 関係者は、トルコを攻撃することは、チュニジアを攻撃するより容易であるとさえ言っている。エルドアン大統領の考えでは、PKK が報復攻撃した場合には、HDP の支持率が低下し、AKP の利益になると考えているであろうが、ISIL が都市や観光地で報復攻撃を行った場合には、エルドアン大統領の早期選挙における勝利の目論見に大きな障害になるであろう。最も合理的な選択は、有志連合との空爆を強化するとともに、シリアとイラクでの対 ISIL 戦等で最も実績を上げているクルド人に対して軍事的支援をすることである。（13日付Z紙10面）

軍事

- 米国がトルコに ISIL 攻撃を待つように要請か**
欧米外交筋によると、米政府高官はトルコに対して、米軍の戦闘機がトルコに更に集結し、有志連合とトルコ軍の協力が確保できるまで、トルコ独自の ISIL 攻撃は待つよう求めた。また、同筋は、PKK 攻撃に関するトルコ政府との間の取引の存在について否定した。（7日付HD紙）
- 米軍 F16・6機がインジルリッキ基地に到着**
9日、インジルリッキ基地に米軍 F16 戦闘機6機が到着。NATO は、同機は ISIL 空爆実行のために展開した発表。（1日 AFP リポート）
- ヌスラ戦線がシリアのフリーゾーン予定地から撤退**
10日シリアのアルカイダ系とされる反政府武装勢力・ヌスラ戦線は、トルコが「ISIL フリーゾーン」の設置予定地である、アレッポ北方の ISIL との戦闘前線から、軍を撤退させることを表明した。ヌスラ戦線は「トルコはシリア北部におけるクルド国家の建設を防ぐ役割を担ってきており、米国の率いる対 ISIL 有志連合は、この地域での戦闘の主導権をとろうとしている。我々の取るオプションはこの地域から軍を引くのみだ。」と発表した。

（8月11日付けTZ紙インターネット版）

- 10日もトルコ空軍 PKK を空爆**
10日夜、軍は、トルコ空軍の戦闘機がハッキヤリ県にある17か所の PKK 拠点を空爆し、これらを無力化したと発表。
- 11日もトルコ空軍が PKK を空爆**
11日トルコ空軍は、トルコ南東部の PKK 拠点17か所に対して空爆を行い、これらを無力化したと発表。（8月11日付HDインターネット版）
- 米シリア主権の領土の変更は望まない事等を発表**
11日、米國務省報道官は、「対 ISIL 国際有志連合の目的は、シリアの領土の主権を変更することではなく ISIL と戦うことだ」と述べた。また「米国とトルコは、対 ISIL 共同作戦のための技術的な詳細部分を詰めている。これが終了するまで、トルコには、単独で対 ISIL 作戦を実施しないよう求めた」と発表。（8月12日付HD紙9面）
- 首相、シリアの安全地帯の必要性を強調**
12日、ダーヴトオール首相は、BBC のインタビューに対し、「シリア領内に安全地帯と飛行禁止区域があれば、現在のようなシリア難民の流入はなくなる。安全地帯が設定できるよう努力する」等と答えた。（8月13日付HD紙1面）
- 米国「安全地帯」についてのトルコとの合意を否定**
12日米國務省報道官は、記者会見において「トルコとは、シリアにおける「安全地帯」の設定には合意していない。」と発言。（8月13日付HD紙9面）
- 有人米軍機のトルコから ISIL を初空爆報道**
12日午後7時50分頃、トルコのインジルリッキ基地から、米軍 F16 戦闘機4機が出撃し、ISIL に対して初空爆を実施した、と米国防総省が発表。
一方、13日、チャヴシュオール外相は、トルコの基地からはまだ米軍機は ISIL 攻撃を行っていない。」との先の発言を訂正した。（8月13日付TZ紙インターネット版）



社会

- 原爆投下後 70 周年の追悼**
アメリカが広島原爆を投下してから70年が過ぎた6日、イスタンブールのおもちゃ博物館では、トルコと日本の子ども達が、広島原爆により白血病を発症し、12歳で亡くなった佐々木禎子さんの願いを引き継ぎ、平和への祈りを込めて折鶴を作った。博物館設立者のスナイ・アクン氏は、子ども達が作った折鶴を、広島市の平和記念碑に送ることを明らかにした。（8月7日付H紙23面）



（写真は8月7日付 H紙インターネット版から）

●ポテトチップス、内容量を減らし価格据え置き

ジャガイモなど原料価格上昇の影響で、メーカー各社は、商品を値上げる代わりに、内容量を減らしている。調査によると、過去3年間で、同価格のポテトチップスの内容量がおよそ28-45%の減少していたことが判明。製品には必ず内容量を表示する義務があるため、一部メーカーではパッケージを変更せずに、減少したグラム数を表示したシールを貼り対応している。(8月11日付HT紙9面)

サイズ	価格	グラム数		減少比
		3年前	現在	
特大	2.5リラ	140~130	90~100	-28.50%
大	1.5リラ	90~80	50~60	-33.30%
中	1リラ	60	40	-33.30%
小	50クルシュ	35~30	20	-42.80%

●フライトの遅延の原因はDHMI（国家航空管理局）か

アタテュルク空港とサビハギョクチェン空港が夏の繁忙期を迎える中、空港内の各種工事が原因で航空機の遅延が慢性化している。背景には、DHMI（国家航空管理局）が航空各社に対して、事前通告を行わず、航空機の発着スペースも調整しないまま工事を進めていること。トルコ航空は、工事の空港運用への影響を把握するべく、DHMIに対して工事計画を提示するように要求しているが、回答は得られていない。アタテュルク空港では、既に主要な駐機スペースが70日間閉鎖されており、今後更に9つのボーディングブリッジと7つの駐機場が閉鎖される予定。(8月12日付H紙12面)

●第三空港に繋がる高速鉄道の入札、今年実施

ビルギン運輸通信大臣は、アンカラ～イスタンブール高速鉄道(YHT)について、ヤブズ・スルタン・セリム大橋（建設中の第三大橋）を経由して第三空港とハルカルに接続する計画であり、アジア側とヨーロッパ側それぞれの入札を今年度行う方針であると明らかにした。(8月13日付HT紙10面)

●新しい二つのメトロ線の入札、9月に実施

カディル・トプバシュイスタンブール大市長は、ヨーロッパ側のアタキョイ～イキテルリ線とアジア側のドウドウル～ボスタンジュ線の入札が、今年9月に行われる予定であることを明らかにした。(8月13日付HT紙23面)

路線	アタキョイ-イキテルリ線	ドウドウル-ボスタンジュ線
全長	13.3km	14.2km
駅の数	12	13
運行時間（片道）	19分	22分
開通予定時期	2018年	2019年

注：本文中の略語の正式名称は以下の通りです。

略語	正式名称	略語	正式名称
AFAD	首相府緊急災害事態対応総局	ÖSB	PKKの防衛隊
AKP	公正発展党（親与党）	OIB	首相府民営化管理庁
BDDK	銀行監督庁	PKK	クルディスタン労働党
BDP	平和民主主義党（クルド政党）	PYD	シリア民主主義連合党
BOT	建設・運営・譲渡方式	RP	福祉党
CHP	共和人民党（最大野党）	RTÜK	ラジオ・テレビ高等機構
DEP	民主党	SNC	シリア国民評議会
DHKP/C	革命人民解放党/戦線	SPK	証券取引監査院
DHMI	国家航空局	SSM	防衛産業庁
DISK	先進労働組合連合	TBB	トルコ弁護士協会/トルコ銀行協会
DTK	民主主義社会評議会	TCDD	トルコ国鉄
DTP	民主社会党	TDHB	トルコ歯科医師会
DYP	正道党	TESK	トルコ商工業連合
EDAM	経済外交政策センター	THY	ターキッシュ・エアラインズ
EPDK	エネルギー市場監督庁	TIKKO	トルコ労働者・農民解放軍
HDP	人民民主党（クルド政党）	TMMOB	トルコ・エンジニア・建築会議連盟
HSYK	裁判官・検事高等委員会	TOKİ	トルコ集合住宅開発局
İDO	イスタンブール海上フェリー会社	TOMA	放水装甲車
İHH	人権・自由・人道支援団体	TPAO	トルコ石油公団
İKSV	イスタンブール文化芸術財団	TTB	トルコ医師会
İSO	イスタンブール産業会議所	TÜBİTAK	トルコ科学技術研究機構
İşİD	イラク・レバントのイスラム国（アルカイダ系）	TÜİK	トルコ統計庁
İTO	イスタンブール商工会議所	TÜPRAS	トルコ石油精製会社
KCK	クルディスタン共同体同盟（PKK系）	TÜSİAD	トルコ産業・実業家協会
KESK	公務員労働組合連合	TÜVİD	トルコ投資家関係協会
KRG	北イラク政府	YÖK	トルコ高等教育評議会
MHP	民族主義者行動党（野党）	YSK	選挙高等委員会
MIT	国家諜報機関		

注：本文中のニュースソースの略称は以下の通りです。

トルコ語新聞		英字新聞		通信社	
Akşam	A	Economist	EC	Anadolu News Agency	AA
Cumhuriyet	C	International New York Times	INYT	Agence France Presse	AFP
Haberturk	HT	Hürriyet Daily News	HDN	Cihan News Agency	CA
Hürriyet	H	Today's Zaman	TZ	Doğan News Agency	DA
Milliyet	M			Ihtlas News Agency	IA
Posta	P			Interpress	IP
Radikal	R				
Sabah	S				
Taraf	T				
Vatan	V				
Zaman	Z				

在イスタンブール日本国総領事館

電話：0212-317-4600、FAX：0212-317-4604、E-Mail: istanbulweekly@it.mofa.go.jp
 WEB: http://www.istanbul.tr.emb-japan.go.jp/index_j.html
 Facebook: http://www.facebook.com/Japonya.Istanbul.Baskonsoloslugu

- トルコに90日以上滞在される方は総領事館に在留届を提出願います。
- 新たに配信希望される方、あるいは今後の配信を希望されない方は、以下のメールアドレスにご連絡ください。
istanbulweekly@it.mofa.go.jp

【イスタンブール県及び近郊県内邦人被害統計】

イスタンブール邦人被害統計								
2014.1.1～2015.8.13 ※総領事館に訴出があったものを集計								
年	窃盗		詐欺		ぼったくりバー(相談)		高額絨毯購入(相談)	
	今週	通算	今週	通算	今週	通算	今週	通算
2014年		2件		4件		33件		5件
2015年	0件	4件	0件	2件	0件	10件	1件	5件

●今週は、高額絨毯購入相談が1件ありました。

★当館HP更新のお知らせ★

- 本年9月、和太鼓グループ「鬼太鼓座」がトルコで初公演決定！
 (6月22日、パルタリマヌ日本庭園にてプレス向け演奏会を開催)(6/23)
- 治安速報：イスタンブール(07/27) **NEW**
- イスタンブール市内でのテロの脅威に関する注意喚起(07/30) **NEW**